

5-5 千葉港長期構想のゾーニング

千葉港の将来像の実現に向け、港の現状と将来の方向性を加味し、効率的でかつ快適性、安全性に富んだ空間利用のゾーニングを設定しました。それぞれのゾーンごとに必要な施策を重点的かつ効率的に展開していきます。

県内企業の発展に欠かせない物流関連ゾーンは、既存の港湾施設の配置等を踏まえて、葛南西部地区、葛南中央地区、葛南東部地区、千葉中央地区、袖ヶ浦地区に配置します。

産業ゾーンは、企業の立地場所を踏まえて葛南西部地区、葛南中央地区、千葉南部～袖ヶ浦地区に配置します。

人々の暮らしの充実に貢献する都市機能ゾーンは、葛南東部地区、千葉北部地区、千葉中央地区に配置します。

人々が海や港と親しみ楽しむための親水・交流ゾーンは、海浜公園や緑地の立地状況を踏まえ、葛南中央地区、葛南東部地区、千葉北部地区、千葉中央地区、千葉南部地区～袖ヶ浦地区に配置します。

豊かな自然環境をもつ港湾を実現するための、自然環境の保全・再生ゾーンは大規模な干潟が位置する葛南西部地区、葛南中央地区、葛南東部地区、千葉北部地区に配置します。

物流関連ゾーン(外貿コンテナ)

背後圏の産業・経済・生活を支える物流拠点として、港湾施設及び物流施設を提供する空間であり、特に外貿コンテナ貨物を取り扱うゾーンとする。



都市機能ゾーン

集客施設や商業施設等が立地し、人々の暮らしの充実に貢献するゾーンとする。



物流関連ゾーン(公共一般、RORO貨物)

背後圏の産業・経済・生活を支える物流拠点として、港湾施設及び物流施設を提供する空間であり、主に、鋼材や化学工業品、RORO貨物を取り扱うゾーンとする。



親水・交流ゾーン

快適な親水緑地等の港湾環境を創造し、人々が海に親しむことのできるゾーンとする。



産業ゾーン

臨海部に立地する鉄鋼業や石油化学製造業などの企業の産業活動に提供されるゾーンとする。



自然環境の保全・再生ゾーン

三番瀬等の貴重な自然環境の保全・再生をし、人と自然が共生する良好な港湾環境の形成を図るゾーンとする。



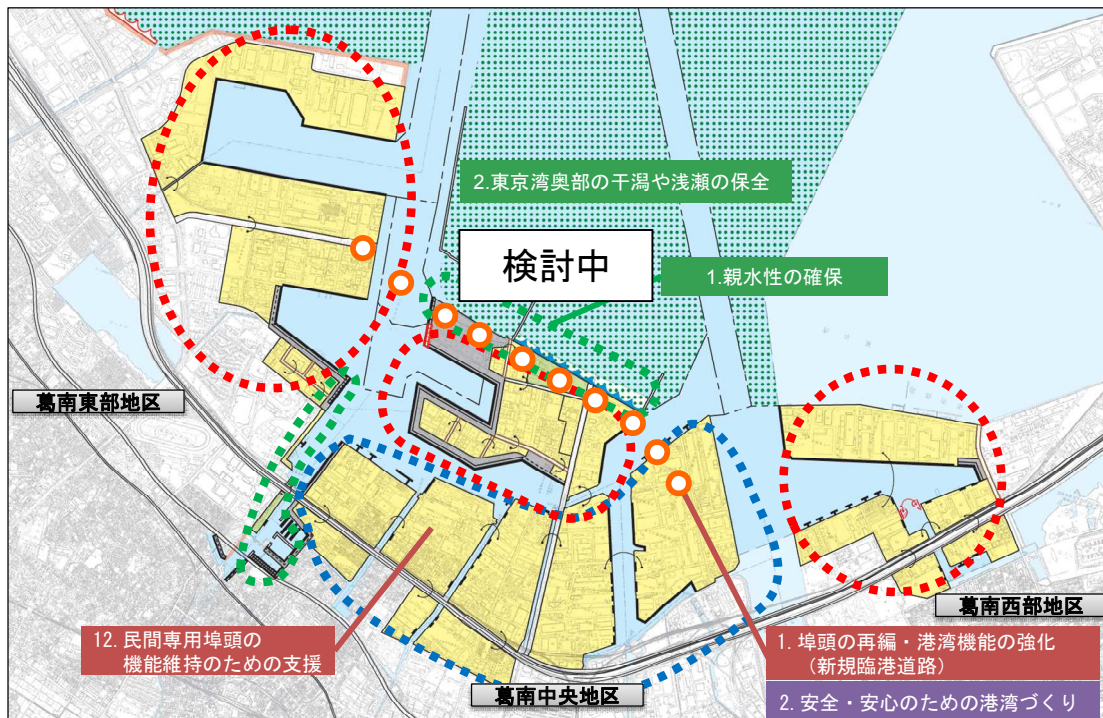
5-5-1 地区別のゾーニングと施策展開

(1) 葛南西部地区、葛南中央地区、葛南東部地区

葛南中央地区の北側は、鉄鋼業者が立地していることから、鉄鋼・鋼材の生産を担う「産業ゾーン」とし、民間専用埠頭の機能維持のための支援を進めます。

葛南中央地区の南側は、現状と同様の貨物の取扱が見込まれることから、スクラップや鋼材の取扱を主力とする「物流関連ゾーン」とします。また、臨港道路を整備し、交通渋滞の緩和、災害時における輸送道路・避難経路の複線化を図ります。南側の沿岸部は、海浜や公園が位置しており、海と触れ合える空間を求める地域住民・来訪者のニーズに応える「親水・交流ゾーン」とします。

葛南西部地区は、鉄鋼や砂・砂利を取り扱う「物流関連ゾーン」とします。



施策展開の凡例

将来像Ⅰ グローバル化、地域間競争の時代の
県内企業の発展を支える千葉港

将来像Ⅱ 県民の生活と安心を支え、
県民と共にある千葉港

将来像Ⅲ 環境を守り、人々が海を感じ
ふれあえる千葉港

ゾーニングの凡例

- ⋯⋯ 物流関連ゾーン
- ⋯⋯ 産業ゾーン
- ⋯⋯ 親水・交流ゾーン
- ⋯⋯ 都市機能ゾーン
- ⋯⋯ 自然環境の保全・再生ゾーン

図 5-5-1 葛南地区のゾーニングと施策展開

(2) 千葉北部地区

千葉北部地区の海岸沿いは、人々が海と触れ合える「親水・交流ゾーン」とし、旅客船棧橋整備による海上交通網の実現や、浜辺における各種のイベント開催への協力などによる地域の活性化を図ります。

前面の水域は、自然環境豊かな干潟・浅海域となっており、「自然環境の保全・再生ゾーン」として、今後も継続して自然環境を守っていきます。

背後の商業施設、集客施設等が立地するエリアは「都市機能ゾーン」とします。



施策展開の凡例

- 将来像Ⅰ グローバル化、地域間競争の時代の
県内企業の発展を支える千葉港
- 将来像Ⅱ 県民の生活と安心を支え、
県民と共にある千葉港
- 将来像Ⅲ 環境を守り、人々が海を感じ
ふれあえる千葉港

ゾーニングの凡例

- 物流関連ゾーン
- 産業ゾーン
- 親水・交流ゾーン
- 都市機能ゾーン
- 自然環境の保全・再生ゾーン

図 5-5-2 千葉北部地区のゾーニングと施策展開